

東北地方太平洋沖地震後の地震活動の予測 Forecasting seismicity after the Tohoku-Oki earthquake

尾形 良彦^{1*}
OGATA, Yosihiko^{1*}

¹ 統計数理研究所, ² 地震研究所、東京大学

¹The Institute of Statistical Mathematics, ²Earthquake Research Institute, University of Tokyo

M9.0の2011年東北沖地震が発生して以来4年経たった。この超巨大地震は依然として日本周辺の現在および将来の地震活動に影響を与えている。この機会に、将来の地震活動のさまざまな予測について議論したい。さらに将来の地震をより細かく予測するための統計モデルの高度化の計画について説明したい。

キーワード: 確率予測, ETAS モデル, 誘発地震, 時空間 ETAS モデル, マグニチュード分布, 地震検出率

Keywords: Probability forecast, ETAS models, Triggering seismicity, Space-time ETAS model, Magnitude distributions, Earthquake detection rates